

ファルマバレー／

今年もオンラインで開催！

バイオデザインセミナー

バイオデザインが企業にもたらす バリュー(VALUE)とは

ニーズの洗い出しを徹底して行い医療機器開発を進めるバイオデザイン。
シリコンバレー発の戦略的な発想で開発する手法は単なる医療機器開発にとどまらず、
その企業が持つ潜在的な価値まで導き出します。

2021.9.9 Thu
13:00 ~ 16:00

定員100名
参加無料



【申込方法】

下記URLまたはQRコードより特設サイトにアクセスして、参加申込フォームよりお申し込みください。
<https://sites.google.com/view/pvc-biodesign2021>【締め切り】8月31日(火)

【お問い合わせ】

(公財)ふじのくに医療城下町推進機構 ファルマバレーセンター
事業推進部 ☎ 055-980-6333 ✉ jigyo@fuji-pvc.jp



主催：(公財)ふじのくに医療城下町推進機構
共催：(一社)日本バイオデザイン学会、静岡県
後援：(一社)静岡県医師会、(公社)静岡県病院協会、(公社)静岡県看護協会
(一社)静岡県臨床工学技士会、(公社)静岡県作業療法士会、(公社)静岡県理学療法士会
(順不同) -予定-

■ プログラム ■

開会／主催者挨拶／導入講演 13:00～13:55



導入講演：シリコンバレーに於けるニーズ探索の事例

いけの ふみあき

池野 文昭氏 スタンフォード大学／医師

日本企業も参考になる、シリコンバレーにおけるバイオデザインの活用具体例や企業の取組について紹介。また、海外の医療機器開発の現在や、米国のAfter COVID-19を見据えた現況なども述べる。

企業によるバイオデザイン活用事例 14:00～14:50



現場からニーズ開発をするための仕組み・仕掛け

なわた あつし

縄田 厚氏 アルケア株式会社 医工学研究所

オルソペディック&リハビリテーション設計開発部 歩行延伸・高齢者領域 主席研究員

アルケア㈱におけるバイオデザイン手法を用いた開発に対する課題とその解決に向けた取り組みを紹介し、ニーズの発掘から医療機器製造・販売までの開発スタイルについて報告する。



ものづくり中小企業にとってのバイオデザインの価値

きりの おきはる

桐野 宙治氏 株式会社クリスタル光学 代表取締役専務／株式会社クアトロメディカルテクノロジーズ 代表取締役

医療機器に関わりがない“ものづくり中小企業”の経営者がバイオデザインフェローシッププログラムを通じて学んだこと、この成果を自社に持ち帰りどのように活用しているのかについて現状を報告する。また、外科医と二人で立ち上げたスタートアップ企業の活動についても報告する。

医師によるバイオデザイン活用事例 15:00～15:50



医師によるスタートアップ事例

たにぐち たつのり

谷口 達典氏 株式会社リモハブ 代表取締役

第一期生としてジャパン・バイオデザインに参加し、医師としての知識や経験を活かしながら、現在遠隔心臓リハビリシステムの開発に取り組んでいる。今回は、これまでの歩みとこれからについてを共有する。



名古屋における取組事例

さえき まさおみ

佐伯 将臣氏 名古屋大学医学部附属病院 先端医療開発部 / 人間拡張・手の外科 特任助教
学術研究・産学官連携推進本部メディカルイノベーション推進室

名古屋大学においてニーズ主導型医療テクノロジー開発を推進するメディカルイノベーション推進室と奥三河メディカルバレープロジェクトの取り組みについて述べる。

このセミナーは「Zoom」を使用して実施いたします。

インターネット接続ができる環境で、PC・スマホ・タブレットなどから視聴できます。接続は簡単です。

Zoomを使用するには、パソコンの場合はウェブブラウザもしくはアプリケーションの利用、スマートフォンの場合GoogleplayやAppstoreなどから事前にアプリのインストールが必要です。（インストールや使用は無料）

- ・Zoomご使用が初めての方は、Zoomの接続テストサイト（<https://zoom.us/test>）にて、事前にご確認ください。
- ・Zoomの使用方法・操作方法については、本イベントではサポートできません。
- ・主催者もしくは視聴者ご自身の回線・機器の状況によっては通信が不安定になったり、それを原因とした映像等の不具合が発生したりする可能性がございます。

その他注意事項は[特設サイト](#)でご確認ください。